

ARAI NEWS

15年以上前、ヒューストンのアストロドームで行われたAMAのキックオフレースで、優勝したライダーが使用したヘルメットはアライでした。アライが世界で認められる一歩となった記念すべきレースです。その名をとった「アストロ」は、いまから10年前に発売となりましたが、以来その名称は、頑固なまでの安全性とより快適な機能の両立を求めるヘルメットの代名詞となっています。ヘルメットの理想である安全性と機能の両立はまた技術革新やアイデアにより日々進歩しています。アストロは、生まれ変わる度に一歩ずつ理想に近づいています。だから、その安全性はもちろん、機能においても見せかけだけの小細工はアストロには似合いません。バイクに跨り必要だと確信されたものだけがアストロに組み込まれていくのです。そこから生まれたのが、シールド着脱システム「アドシス」や、サイズ調整可能で手洗いのできるシステムパッドであり、丸洗いのできる内装システムなのです。今回発売された新しい「アストロF」の目玉は、安全面では、ますます頑丈になり、なおかつ軽量化された帽体にあります。機能面でも見逃せないポイントがあります。今回はその中の2つをピックアップして紹介します。

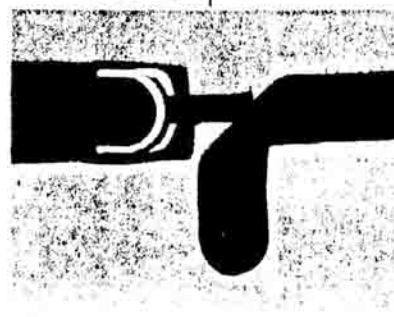


アゴ下をもっと長くして巻き込みを防げば暖をとることもできますが、安全性やシールドの曇り、さらに夏場での暑さに対しては逆効果です。こうした矛盾を全て解決したのが、アストロFのアゴ下に装備されているエアロフラップです。走行中には、ワンタッチで引き出し巻き込み風を防ぎます。一方、低速時

せん。

アゴ紐の進化

アゴ紐は、万一の際に、ヘルメットが頭から離れないようにしっかりと取り付けられていなければならない大切なパーツです。大切だからこそ、スムーズに締められなければなりません。アゴ紐のナイロンテープひとつにしても締めやすく肌離りもよく、しかも万一の際に伸びることのない優良のものを厳選しています。また、煩わしいハタツキを防ぐストラップスナップもとても便利だと異はされてい



ますが、今回のアストロFでは、その材質と形状を見直しました。耐久性を向上させただけでなく、ナイロンテープとの整合性が良く滑りやすくなったために、着脱時の煩わしさも大きく改善されています。普段見落と

エアロフラップ

冬はライダーに大変厳しい季節です。夏にはもっと入ればと思っていたベンチレーションからのエアや巻き込み風も、冬には迷惑にさえ感じるものです。アライもライダーですから、この風の巻き込み防止には頭を悩ませました。冬場でのヘルメットを考えると、

や、信号待ちなどシールドの曇りが気になるような時には、エアロフラップを押し込めればOKです。しかもエアロフラップは帽体を変形させた訳ではありません。帽体のカットはあくまでたいらです。万一の際に顔や顔面に対してやさしい形状と材質で、安全性に問題はありません。アライ自身が走っていないければ生まれなかったシステムかもしれま

細にもこれだけの工夫が組み込まれているのです。これもアライならではの事です。

アライはライダーの集まりです。このアストロFにも、アライのトップ自らが乗って確かめられた機能だけが組み込まれています。だからこそアストロは、安全性と機能を両立させたヘルメットの代名詞なのです。

ヘルメットの理想を追い求めて アストロFの場合

(株)アライヘルメット
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です
製品の事なら、お気軽にご相談ください
直通 TEL(048)645-3661